

「自由で開かれたインド太平洋」 (FOIP) の下での防衛省・自衛隊の取組み

・防衛省・自衛隊としては、重要なシーレーンが通過する**東南アジア**、**南アジア**、**太平洋島嶼国**に加え、エネルギー安全保障上重要な**中東**や**アフリカ**、**中南米**といったインド太平洋の各地域との間で、**防衛協力・交流を強化**

【具体的取組の例】

- ・海自艦艇のインド太平洋方面派遣 (IPD)における東南アジア各国との親善・共同訓練や能力構築支援の継続的な実施
- ・HA/DRに関する日ASEANオンラインセミナー
- ・初の完成装備品の海外移転 (フィリピンへ警戒管制レーダーを納入する契約が成立)
- ・スリランカ軍に対する能力構築支援 (航空救難)
- ・日・太平洋島嶼国防大臣会合 (JPIDD: Japan Pacific Islands Defense Dialogue) の開催
- ・パプアニューギニア軍に対する能力構築支援 (音楽隊育成)



第4回HA/DRに関する日ASEANオンラインセミナー (2021年4月)



PNG軍楽隊への能力構築支援 (2021年9月)

・推進に当たっては、**米国**、**豪州**、**インド**及び**英仏独等の欧州諸国**や、**カナダ**、**ニュージーランド**といった、FOIPというビジョンを共有し、インド太平洋地域に繋がりを有する国々との間で**積極的に協働**

【具体的取組の例】

- ・日米が連携してベトナムに対する能力構築支援
- ・日米豪共同訓練 (コープ・ノース)
- ・インドとの三軍種における共同訓練
- ・英空母「クイーン・エリザベス」を旗艦とする英空母打撃群の日本寄港
- ・日仏米豪印共同訓練 (ラ・ペルーズ21)
- ・ミクロネシア連邦等における人道支援・災害救援共同訓練 (クリスマス・ドロップ)



日本に寄港した英空母クイーン・エリザベスを視察する岸防衛大臣 (2021年9月)



ミクロネシア連邦等における人道支援・災害救援共同訓練「クリスマス・ドロップ」 (2019年12月)

⇒**関係各国と協力し、インド太平洋地域の平和と安定に貢献することにより、平和と安全・安心社会の実現に寄与**

【参考1】地図上で見る防衛省におけるFOIPビジョンの推進



【参考2】ASEANが発出した、主要な協力分野の1つにSDGsを掲げている「インド太平洋に関するASEANアウトック」(AOIP)はFOIPと本質的な原則を共有。2021年6月にVTC形式で実施された第8回ADMMプラス(拡大ASEAN国防相会合)では、AOIPに対し全面的な支持を表明。

【参考3】2020年に引き続き、2021年も日米印豪の4か国で共同訓練「マラバール」を実施し、民主主義や法の支配といった基本的価値を共有する4か国の防衛当局間での緊密な連携を確認。

